

奥河内ラジオ第3回放送番組審議会 議事録

- ・日 時 令和7年7月22日(火曜日)10時30分～12時00分
- ・場 所 フォレスト三日市3F三日市市民ホール会議室A(河内長野市三日市町32-1)
- ・出席者 大谷裕美子 齊藤充弘 藤田孝子 三浦佐江子 宮前太一
- ・欠席者 無し
- ・同席者 取締役・放送局長:阿部希右 取締役:瀬沢鳴美
- ・議事録担当者 阿部希右(放送番組審議委員確認済)

第3回放送番組審議委員会内容

1、阿部希右 放送局長より挨拶、本日の審議内容の説明

- ①パーソナリティーによるフリートーク 7月9日13時～パーソナリティ田村周
- ②来客時のトーク 藤原興産保険事務所提供 河南町 生涯まなび課(2名)

以上の事前に視聴した内容を審議し、問題がないか話し合いを行う。

2、大谷裕美子放送番組審議委員長により議事進行

●パーソナリティーによるフリートーク

・差別的な発言や問題のある言葉遣いは無かったと感じている。

・曲の選曲の間違えから疲労感等を感じる。

(阿部補足放送に全体的になれてきていて、油断や慣れによる軽微なミスも目立つようになってきているのではないか?)

・田村さんの声が聞きやすく間の良さがあり心地よい。要点を落とし込んでいて上手に構成されていると感じる。

・個人的な感想としてフリートークで、笑い方にきおつけた方がいい(引き笑いを感じた)

・パーソナリティの体験からの宣伝は非常に興味がわく(自分の悩みと通じて)

・イベントの事前情報ができるだけ欲しいという内容が上がった(例としては、もちまきが行われて体験したかったがいつも終わってから、もち巻きがあったという情報を聞く)

・自治会の盆踊りについて、イベントの情報だけでなく、自治会に入っていない方も増えてきている(会費を払わない)。ゴミや、街灯等のインフラを無料で利用している状態になっている。掃除・盆踊り等だけでなく、放送の中で、自治会についての意義まで触れてはどうか？

・放送に乗せると情報が不特定多数の方への情報になる。自治会レベルの祭りの宣伝の放送をするとき、駐車場等の問題があることを伝えてはどうか。

(阿部、コロナでお祭りが一旦なくなってしまった、人の流れを取り戻したいと考えている自治会あるのをお手伝いをするとともに、車等の駐車にたいする配慮を促すことを確認)

・盆踊りの内容について、地域のお祭りということ中心のトーク内容で、原点として先祖供養があるので内容を深めることが必要ではないか？

●来客時のトーク 藤原興産保険事務所提供

・差別的な発言や問題のある言葉遣いは無かったと感じている。

・提供番組とオリジナル番組の差が分かりにくいと判断し、阿部から提供番組とオリジナル番組の違いを放送番組審議委員に説明

・藤原興産保険事務所さん提供の番組で河南町と教育あり方が見えて非常に良い。こういう番組を他の市でもやってほしい。

・羽曳野の方のスポンサーで河南町の取り組みを紹介しているということが面白い(他市で起業されている方が、河南町を支えている市域を超えたあり方が良い)

・放送することによって河南町の教育の良さ、うらやましさを感じた。

(阿部が、例えば河内長野市の教育に対する取り組みも多くあるが、それが情報として伝わっていない可能性があることを補足で説明する。)

・ラジオは情報提供の場所だから、子育てを終えた世代の人達でも、最新の情報にアップデートができる。こうすることで市民、町民、村民の教育力を高まっていく。藤原興産保険事務所が行った提供番組には、高い意義を感じた。

・学校教育以外にも、多種の分野に取り組んでおられることを知って、市民全体に優しい町であると知った。

・藤原興産保険事務所さんの番組で、話すときの人数が多く、分かりにくい一面もある

・ウインドオーケストラの話の後に選曲が何故ウインドオーケストラじゃないのか？気になる。話と曲の一致をさせてほしい

・6月に放送にゲストで出演する機会があり、事前にパーソナリティーとの打ち合わせがあり、その時に甲斐の手元に資料がつくられており、大谷の意図や目的意義や思いまでを理解してくれていたことが、非常に良かった。福祉協議会の方が喋るときは、その人だけに、大谷がしゃべるときは、大谷だけに、分けてもらったのは、話す側として、聞いてもらう側としても良くとても喋りやすかった。パーソナリティーによって番組が、整えられていると感じた。実際にスタジオの中に入るとアットホームで、音響担当もリラックスできるような雰囲気を出して非常に良かった。

●CM・録音物に関して

・奥河内ラジオClubカードのCMがきつく感じる【こいつ！いつも忘れるから】のフレーズに心がざわつく感覚を感じる

・加盟店紹介の「これはテストに出るからメモしといて！」という内容が、耳につく。ここだけが上から目線に感じてしまう。毎時間あるので、いらぬのではないか？

・加盟店紹介については、別のバージョンも期待してしまう

●放送番組審議会に対する意見・その他

・今まで2つのトークを1時間分(合計2時間)聞いて来たが、パーソナリティーの全体を網羅することができないので全体的な低俗化や倫理観の現状ではチェックはできない。短くてもよいので多くの人を聞くことが重要ではないか？パーソナリティーの出演頻度はどうなっているのか？(出演頻度順番にチェックを行う意図と思われる)

(阿部が質問に対して、フリートークに関してパーソナリティーの人数分用意することも可能であるが、あまりにもデータが膨大になる為、トーク区切り分程度の長さにするを提案する。12分ぐらいにすることが決まる。また放送審議委員の視聴時間が多くなることも考慮し、すべてを視聴

しないのでできる限り資料していただくという方針で決定した)

- ・小さな変化として、10時になったらラジオ始まる。という話題が上る。

- ・普段放送を聞いていて、敬語について、丁寧すぎて違和感を感じてしまうこともある。

- ・店のレポートで声がわれていたり音声が悪いケースがあるが改善はできないのか？

(阿部質問に対し、レポートをスマートホンの回線で接続で行っているために、回線の状況、電波の状態によってレポートの音質が極端に悪くなる可能性があること、できる限り改善に努めていることを説明)

- ・自治会の取り組みが分かるような番組があってもよい(それぞれのコミュニティーが取り組んでいることが分かるような)

3、阿部放送局長より、今後の取り組みを説明

- ・録音データを、アーカイブだけではなく一般の人にアクセスをしてもらいHP上で聞いてもらえるようなシステムの準備を行っている。

- ・サテライト放送を(放送局の本局から離れた場所に設置された中継放送局)行えるシステムを導入しているので、関連自治体と共に、万博に中継放送局において現地からの放送ができないか協議を進めている。

4、次回放送番組審議会

10月28日(火)午前10時半から1時間、河内長野市三日市町32-1

フォレスト三日市3F 三日市市民ホール会議室Aで行うことを確認する

以上